



〈高知県立歴史民俗資料館だより・おこうふうじつ〉

第69号 2009年9月1日

わが国では、毎年約九、〇〇〇件を超える発掘調査が実施されています。しかし、私たちがその成果に実際に触れる機会は、極めて限られています。このため文化庁では、近年特に注目された発掘出土品を中心とした展示を構成、全国を巡回させ、国民が埋蔵文化財に親しみ、文化財保護に理解を深めてもらうことを目的とし「発掘された日本列島」展を行なっています。なお、この展覧会は平成七（一九九五）年度から毎年行なわれています。

平成二一年度は全国五会場のうち、当館が三番目の会場となります。展示会場は、東京都江戸東京博物館（平成二一年六月二〇日～八月二日）を皮切りに、大阪府立近つ飛鳥博物館（八月一三日～九月二三日）、そして一〇月三日～十一月九日まで高知県立歴史民俗資料館で開催されます。中国・四国・

発掘された日本列島2009
秋に歴民で開催

平成二一年度 高知県立歴史民俗資料館 秋季特別展

文化庁主催 発掘された日本列島2009
全国から貴重な出土品が高知にやってきました。

二〇〇九年一〇月三日（土）～十一月九日（月）に開催



展示される鳥形埴輪 和歌山県岩橋千塚古墳群大日山35号墳
古墳時代後期（復原高46cm 長さ51.5cm 復原幅約65cm）

九州地域での開催は高知県のみとなります。

その後、栃木県のさくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―（十一月二〇日～二七日）、愛知県の安城市歴史博物館（平成二二年一月一六日～二月二八日）と巡回していきます。

東京都江戸東京博物館では、五四、六七六人の観覧者がありました。当館では平成八年度（一九九六）と平成一六

年度（二〇〇四）に開催していますので、今回で三回目の開催となります。

本年度は、約三万年前の旧石器時代から一五〇年前までの近代に至る二〇遺跡、約六一〇点の出土遺物やパネルを展示します（六頁参照）。

また「特別史跡平城宮跡第一次大極殿」と題し、テーマ展示も行なわれます。二〇一〇年は、藤原京（奈良県）から七一〇年に平城京（奈良県）に都が移って一三〇〇年となります。平城京は七八四年の長岡京（京都府）に移るまで政治や文化の中心地でした。現在、平城宮跡第一次大極殿の復元整備が行なわれており、二〇一〇年に完成する予定です。これに併せて今回は、復元整備に伴う発掘調査の成果、復元の経過、工事の様子、大極殿院の模型や実物大鷗尾模型なども展示を予定しています。

発掘された日本列島2009 第一会場

旧石器時代

今回展示される主要な遺跡や出土品を時代順に少し紹介していきます。旧石器時代の遺跡は、鹿児島県の種子島と岩手県北上市で発掘された二つの遺跡が取り上げられています。

約三万年前の日本最古の落とし穴？

鹿児島県種子島 大津保畑遺跡

鹿児島県種子島の熊毛郡中種子町大津保畑遺跡で、二万七千年前の静岡県三島市初音ヶ原遺跡などより古い、約三万年前の落とし穴と考えられる遺構が一二基発見されました。なぜ、この落とし穴が古い時代のものとなったのでしょうか。この落とし穴（入口直径一・八m、深さ一〜一・三八m、底の直径〇・七五m）に堆積した土の上層部に、約三万年前に降った火山灰が堆積していたのです。そこでこの落とし穴の年代がわかったのです。落とし穴のはじまりを考える上で貴重な遺跡です。（この遺跡は、写真パネルのみの展示となります。）



落とし穴の断面 鹿児島県大津保畑遺跡
旧石器時代 約30,000年前

旧石器時代最大の石斧

岩手県北上市愛宕山遺跡

愛宕山遺跡から、二〇〇六年に旧石器時代最大の凝灰岩製の長さ三〇・八cm、幅八・八cm、厚さ二・八cm、重さ八二五gの石斧が出土しました。旧石器時代の石斧は、一〇cm前後のものが多く、大きくても二〇〜二五cm程度のものです。愛宕山遺跡の石斧は現存する旧石器時代の石斧では国内最大級といえます。このような大型の石斧がなぜ遺跡にのこったのでしょうか。そして、どのように使用されたのでしょうか。今後の研究がまたれます。



石斧（石斧の大きさがわかります） 岩手県愛宕山遺跡
旧石器時代 25,000年前

縄文時代

縄文時代の遺跡では、沖縄県の集落遺跡と関東の茨城県と東京都の貝塚が取り上げられています。

南島の縄文物語―ウーチヌカー（湧水）が今に伝える

沖縄県中頭郡北谷町伊礼原遺跡

沖縄本島の中部、東シナ海に面した海岸部にある伊礼原遺跡は縄文時代前期から晩期（約六八〇〇年前〜二五〇〇年前）に営まれた集落遺跡です。遺跡は、丘陵側の麓にみられる湧水の低湿地と海岸部に広がる砂丘上にあり、低湿地の湧水（ウーチヌカー）を水場とし、砂丘地区は住居としていました。これだけ長く営まれた集落は



骨製品（ジュゴンやクジラの骨を利用）
沖縄県伊礼原遺跡 縄文時代中期～晩期

珍しく、ここからは縄文時代前期の南島爪形文土器と呼ばれる土器や九州の縄文時代前期の曾畑式土器と呼ばれる土器が出土しています。本州、新潟県姫川産のヒスイも出土しています。ヒスイを蛍光X線にかけて分析した結果、姫川産とわかったのです。新潟県から直線距離で一五〇〇kmも旅してきたことになりました。また、九州産の黒曜石も出土しています。他にも縄文時代中期から晩期の動物の骨を加工して作った骨製品も出土しています。縄文人は板子一枚下は地獄とも呼ばれる海を航海して貴重なものを手に入れていたのです。交流を示す貴重な出土品であるとともに、そこに縄文人達の生きる力強さを感じます。

五〇〇〇年前の縄文タイムカプセル

斜面に築かれる
茨城県稲敷郡美浦村大谷貝塚

関東平野の東部、茨城県稲敷郡美浦村に縄文時代前期中葉（約五五〇〇年前）〜中期後葉（約四五〇〇年前）に形成された大谷貝塚があります。この貝塚は台地の斜面に形成され台地上に集落が営まれています。貝塚は霞ヶ浦（茨城県南東部から千葉県北東部に広がる湖。湖面積二二〇km²）からかなり離れているところに位置していますが、当時は縄文海進で内海となり、貝塚と漁場との距離はそれほど離れていな

かったようです。縄文時代前期の貝塚の貝層からは、アサリ・ツキノワグマ・オオカミ・イノシシ・キツネ・サメ・イルカなどの歯牙で作った垂れ飾りやシカやイノシシの骨や角で作った刺突具・釣り針など、中期の貝塚の貝層からはハマグリや貝輪、網の錘に用いた土器片錘も多く出土しています。縄文時代の採集や漁撈など縄文人の生命を支えた食料採集の実態に迫る資料群です。

三五〇〇年前の縄文タイムカプセル 環状に築かれる

東京都北区西ヶ原貝塚

西ヶ原貝塚は日本考古学史上有名な貝塚です。日本考古学発祥の地とされる品川区の大森貝塚が発見された翌年の明治一一（一八七八）年ころ発見された縄文時代中期から晩期の大規模な



土偶（筒型土偶の顔の部分 長さ5.5cm、幅5.5cm）
東京都西ヶ原貝塚 縄文時代後期

貝塚です。貝塚は、東西約一四〇m、南北約一八〇mで、馬蹄形に広がる貝塚東側部分の調査で、主に縄文時代後期の住居跡や墓、小規模な貝塚などが点在していることがわかりました。遺物は、土器や石器、筒形土偶、耳飾り、貝製の装飾品、男根状鹿角などが出土しています。都会に残る貴重な貝塚です。貝類や獣骨などの自然遺物を細かく研究することで、縄文人の食生活が明確になってくるでしょう。

弥生時代

弥生時代の遺跡では、大阪府の青銅器の供給地とされる遺跡、最東端の銅戈と銅鐸が埋納された長野県の遺跡、大陸との交流のあった福岡県の遺跡の三遺跡が取り上げられています。

中河内の青銅器の生産工房 銅鐸だ

けでなく銅剣も

大阪府東大阪市鬼虎川遺跡

鬼虎川遺跡は、旧石器時代から江戸時代にわたる複合遺跡で、東大阪市の東部に位置しています。一九七〇年に発見された遺跡で、道路工事に伴い確認されました。鬼虎川遺跡は、弥生時代の拠点集落で、前期初頭から営まれた、さらに中期前半には環濠をめぐらした集落が営まれ、中期後半まで継続しています。集落は、長辺四五〇m、短辺約二二〇mの三重の濠に囲まれて



銅剣の鑄型の破片（黒色部分が銅剣の部分、鑄型は破損後砥石に転用） 大阪府東大阪市鬼虎川遺跡 弥生時代

いた時期もありました。中期前半から中葉にかけて環濠間から外の北東部に方形周溝墓群が営まれています。

中期後半には濠も埋めつくす整地がなされたようです。遺跡からは、銅剣の鑄型片、銅劍鑄型片や銅鐸鑄型片などが発見されており、青銅器の製作、供給地であったことが考えられます。銅鐸形土製品も出土しています。また、土器や石器の他に弥生時代中期中葉の台式土偶が出土しており注目されています。縄文時代の祭祀習俗が一部行なわれていたことが考えられます。

東端の青銅器埋納遺構 北信濃

生社会の見直し迫る

長野県中野市柳沢遺跡

二〇〇七年に長野県北部に位置する



埋納された銅戈と銅鐸
長野県柳沢遺跡 弥生時代中期

高社山西麓の長野県中野市の柳沢遺跡から弥生時代中期から後期の埋納坑に納められた銅戈七本と銅鐸一個が発見されました。二〇〇八年には、さらに埋納遺構周辺の土を金属探知機で調査したところ、銅戈破片一点と銅鐸四個体分の破片が見つかりました。この遺跡には、銅戈八本と銅鐸五個が持ち込まれていたこととなります。東日本で初めての発見となりとても注目されました。銅鐸と銅戈の製作年代は紀元前後と推定されています。埋納坑が見つかったところから北に千曲川流域を中心に見られる弥生時代中期の礫床木棺墓が見つかり、関連が考えられています。

なお、当館では、昨年度夏に企画展

「土佐発掘物語Ⅱ―謎―弥生時代の青銅器 発見と発掘―」の関連企画として講演会を実施、「青銅器発掘物語―出雲荒神谷から信濃柳沢遺跡、そして土佐の青銅器―（愛媛大学准教授吉田広氏講演）」と題して取り上げました。柳沢遺跡からは二本の貴重な銅戈が展示される予定です。

伊都国の環濠集落 大陸系の遺物がザックザク

福岡県福岡市西区今宿五郎江遺跡 今宿五郎江遺跡は福岡県今宿平野に位置し、北は今津湾に面した弥生時代中期から終末期の大規模な環濠集落遺跡です。環濠は谷を利用して構築され、居住区をめぐっています。環濠は弥生時代後期後半にほとんどが埋まり、次第に谷も埋没していったと考えられています。これに伴い岸から大量の土器が谷に投げ込まれています。

出土した土器には、楽浪郡（中国漢王朝が紀元前一〇八年に設置した郡。西暦三一三年に滅ぶ。大陸文化の中継地として重要な位置をなした。）で作られた土器、そして銅製品、鉄製品など朝鮮半島からもたらされたものも出土しています。木器には、短甲や盾などの武器もあります。今宿五郎江遺跡は、この地域の拠点集落として国内外と交易などを行ない、伊都国（中国の歴史書『魏志倭人伝』にみえる国の一つ）

の対外交渉の一翼を担っていた可能性が考えられています。

古墳時代

古墳時代では、南九州の鹿児島県の墓地遺跡、珍しい形象埴輪が出土した和歌山県の古墳、黄泉の世界を垣間みせる島根県の未盗掘古墳の三遺跡が取り上げられています。埴輪は本展示の見所の一つです。

九州の古墳時代

鹿児島県指宿市南摺ヶ浜遺跡

指宿市南摺ヶ浜遺跡は、薩摩半島南部鹿児島湾に面した丘陵に立地する、弥生時代終末期から古墳時代中期後葉の墓地遺跡です。発掘調査で壺棺墓一六基、甕棺墓一基、土坑墓七二基、円形周溝墓、立石墓二五基など多様な墓が発見されました。立石墓は、薩摩半島南部の独特の墓で、埋葬された土坑墓や壺棺墓の一角に板状の石（立石）を立て、周囲に壺などの土器を供えたものです。立石は墓標のような役割を果たした可能性も考えられています。南九州では、古墳以外の墓は、弥生時代以来の伝統的な埋葬方式を採用していました。この地域の墓の変遷を知ることのできる重要な遺跡です。



両面人物埴輪頭部（残存高19.2cm、幅14.2cm）
和歌山県大日山35号墳 古墳時代後期

オモテの顔とウラの顔 人生いろいろ埴輪もいろいろ

和歌山市の東部の丘陵に五世紀初頭から七世紀後半まで営まれ、約八五〇基の古墳からなる特別史跡岩橋千塚古墳群があります。この地域を支配していた豪族紀氏の造営にかかると考えられています。このうちの大日山三五号墳は、六世紀前半に造られた全長約八六mの前方後円墳です。古墳の「造出し」と呼ばれる張り出した部分から多数の埴輪や須恵器が見つかりました。東の造出しからは、家形埴輪、そのまわりから翼を広げた鳥形埴輪（一頁）、水鳥形埴輪や猪・犬などの動物埴輪などが出土しています。西の造出しからは、武人埴輪、双脚輪状冠帽をかぶった人物埴輪や両面人物埴輪、騎馬



胡籙形埴輪（復元高96cm、復元幅約39cm）大日山35号墳 和歌山県和歌山市 古墳時代後期

の時に腰にベルトで装着する矢筒をかたどった胡籙形埴輪などが出土しています。このうち翼を広げた鳥形埴輪や類に入れ墨、鏃形線刻のある両面人物埴輪、胡籙形埴輪は出土例がなく注目をあびています。

未盗掘の古墳がらのごく黄泉の世界

死者の目がみた風景

鳥根県出雲市中村1号墳

出雲市国富町で工用道路建設中に偶然発見された盗掘されていない珍しい古墳です。横穴式石室の埋葬施設をもつ、六世紀末から七世紀前半の古墳です。石室の長さは一〇m、二基の組み合わせ石棺が置かれ、玄室の石棺の側壁の前には燈明台石が置かれています。副葬品は、装飾大刀三振、鉄鏃約一〇〇本、馬具三組、鏡一面、鈴二点、須恵器六〇点など総数二〇〇点以上です。未盗掘古墳のため葬送儀礼の一部を復元することが可能です。追葬も行なわれており、当初副葬された大刀は

が継続中です。

次に古代から近代の遺跡については、主要な遺跡のみを紹介します。

古代

古代の遺跡では、宮城県東松島市の奈良時代の矢本横穴墓群・赤井遺跡、新潟県上越市の飛鳥ヶ奈良時代の延命寺遺跡、光明皇后が建てたとされる新薬師寺旧境内（パネル展示）、岩手県紫波郡矢巾町徳丹城跡、秋田県北秋田市胡桃館遺跡（パネル展示）の五遺跡が取り上げられています。

古代の史料によると現在の新潟県から山形県、秋田県、日本海側と宮城県から岩手県に及ぶ太平洋岸には柵や城と呼ばれる施設がありました。これらは蝦夷と呼ばれる人々を支配する拠点として築かれ、城柵と呼ばれています。徳丹城は九世紀初めに造られた律令国家最後の城柵で、志波城を移転した城と言われています。徳丹城が築かれた

遺体から離れて立て掛けられており、追葬時に先に葬られた人物の霊力を封じ込めるために行なった行為と考えられています。現在も調査



井戸から出土した木製冑（前後径24.5cm、高さ15~17.3cm）と複製品 岩手県矢巾町徳丹城跡 古墳時代末

時期の工房の井戸跡から水桶に転用された古墳時代末の木製冑が出土しています。この冑は一五〇年間使われていたようです。

中世・近世

中世遺跡では、二遺跡が取り上げられています。一つは、中世宗教都市ともいえる福井県勝山市の史跡白山平泉寺旧境内の遺跡です。霊峰白山の越前側の登坂口に位置する山林（山岳）寺院です。一五世紀後半から一六世紀後半の国内最大級の石畳道や石垣などが発掘されました。一四世紀はじめの中国（元）の景德鎮窯で焼かれた青白磁観音像や僧侶の暮らしぶりを知ることができる一五世紀後半から一六世紀後半の仏具や茶道具・文房具・甲冑の破片などが出土しています。一地域を支

配した寺院の法燈の展開を知ることのできる重要な遺跡です。

大河ドラマで「天地人」が放映されています。上杉謙信の後継者をめぐる問題で御館の乱の重要な舞台となったのが史跡鮫ヶ尾城跡です。景虎終焉の地から、炭化したお握りが出土しています。布の跡も観察されています。



炭化お握り 新潟県妙高市鮫ヶ尾城跡 戦国時代

近代

近代では、神奈川県横浜市市中区山下居留地遺跡を紹介します。横浜は、安政五カ国条約により安政六（一八五九）年に開港、外国人の居留地が山下や山手地区に営まれました。この遺跡からはそれぞれの国柄を示すスタイルなどが出土しています。開港から国際都市へと発展した近代都市構造の一端を示す貴重な遺跡です。

第一次大極殿 平城宮跡の第一会場の本格的な発掘調査は、一九六五年に奈良国立文化財研究所（現・独立行政法人国立文化財研究所）によって始まり、その後継続的に実施されました。大極殿における発掘調査の成果、そして古建築や絵画などを参考とした長年の調査研究の過程、その成果について紹介します。瓦では、軒丸瓦・軒平瓦、鬼瓦なども展示します。また、平城京大極殿院の百分の一模型（長さ四・一二m、幅二・九七m、高さ二・一六m）や復元された鴟尾、復元された金具なども展示します。



大極殿 CG

発掘された日本列島2009



展示される遺跡だよ



食のこころ文化講座



6月安田町じねんグループさんの様子です

高知の食文化と地域の食材を

紹介する、歴史名物講座です！

毎月第三土曜日に開催されている講座で、毎回満席になるほど好評いただいています。県内各地の伝統食や地域の特産品を使つての様々なメニューが受講者に喜ばれています。各地域の歴史や風俗、そして時には生産者自らの講座を聴いてからいただく食事は、お腹にもこころにも届くことと思います。

十一月からは、県内各地を实际に訪ねて行く「食のこころ特別編・食のふるさと講座」を三月までの5回連続で、来年の龍馬伝に合わせて、龍馬ゆかりの地を訪ねながら開催します。詳しくは当館までお問い合わせ下さい。(猪野)

年度後半の出張授業

平成二十一年春に「出張体験学習・出張授業」のご案内を県下の小中学校に送付しました。当館職員が希望、依頼のあった学校に資料や道具を持参し、体験学習の指導・協力を行うものです。①火おこし体験②勾玉づくり③昔あそび④よろいかぶとを身につけよう⑤昔のくらし⑥歴史学習の共同授業が主な内容です。一学期には、東は室戸市、西は中土佐町大野見、地元は南国市、高知市周辺等の十数校からのリクエストに応え、各校を訪問させていただきました。二学期もすでに、いくつかの学校からお問い合わせをいただいています。体験や実物資料を通して、教科書から一歩踏み込んだ授業が可能です。希望日が重複する場合は日時の調整をさせていただく場合もあります。可能な限り、ご希望に応じます。館職員・解説員・歴史館カルチャーサポーターの面々で訪問させていただきます。希望日の一ヶ月前までに「出張体験学習・出張授業」申込書にてお申し込みください。先着順とさせていただきます。お申込み後、事前の打ち合わせにご協力ください。(寺川)

感謝状が贈呈されました！

平成二〇年の「絵葉書展」の際、津野町の下元健起さんよりお借りした明治期の人力郵便物配送車が、本年六月当館に寄贈され、この度知事名の感謝状が贈呈されました。

正式には「逋送車」と呼ばれる本資料は、明治期の錦絵にも登場する逸品で、全国的にもても大変貴重なものです。

下元さん宅にご挨拶にうかがった時、実際にこの逋送車を牽いていた逋送員のご子息、宮本清助さんにお会いすることができました。そして、「前掛けにステテコみたいな格好で、父と他の二人と交替で、舟戸―葉山―須崎間の郵便物を運びよった」と、資料にまつわるお話をたくさん聞くことができました。



当時の姿を今に伝える逋送車

平成21年7月17日 下元邸前にて



今後は、適切な環境で管理すると同時に、「なるだけ皆にみてもらいたい」という下元さんのご要望に応えるため、来年四月からの新常設展の目玉にしたいと考えています。消防団のホース車として再利用されたり、危うく焼却されかけたりと、幾度も困難を乗り越えてきた明治時代の生き証人。みなさんも是非一度見学に来てください。なお、同日付で、ブラジル移民の功労者である、崎山比佐衛・吉村繁義関係資料をご寄贈いただいた、崎山ひろみさんにも感謝状が贈呈されましたのでご報告いたします。(野本)

★★★ 休館のお知らせ ★★★

●平成21年度 高知県立歴史民俗資料館 秋季特別展「発掘された日本列島2009」の展示資料搬出・搬入・展示のため下記の期間を休館といたします。

平成21年9月27日(日)～10月2日(金)

●歴史民俗資料館は改修工事のため下記の期間長期休館といたします。

平成21年11月10日(火)

予定平成22年3月20日(土)



図録・研究紀要・目録等の販売

文化庁編

『発掘された日本列島2009』朝日新聞出版刊

B 5版 88頁 売価1,700円

『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第17号

A 4 64頁 売価400円

『収蔵資料目録第14集 寺石正路関係資料目録Ⅲ 考古分野 古鏡拓本編』

A 4 24頁 売価400円

『特別展 兜—もののふの美意識—』

A 4 12頁 売価100円

送料等についてはお問い合わせください。

岡豊風日(おこうふうじつ) 第69号
平成二二年九月一日
編集・発行 高知県立歴史民俗資料館
〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1
TEL 088(862)2211
FAX 088(862)2110
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 年末年始(12月27日～1月1日)、臨時休館あり
観覧料 通常期常設展(大人(18才以上) 450円・団体(20人以上) 360円
〔企画展〕常設展示込み500円
・団体(20人以上) 400円
無料・高校生以下、高知県及び高知市長寿手帳所持者、療育手帳・身体障害者手帳・障害者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(一名)
印刷 共和印刷株式会社

http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/
eメール: rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

平成21年10月～11月の催し

平成21年度 高知県立歴史民俗資料館 秋季特別展

文化庁主催「発掘された日本列島2009」

平成21年10月3日(土)～11月9日(月)

「あたらしい日本の姿、発見」



文化庁主催「発掘された日本列島2009」がこの秋開催されます。

この展示会は、文化庁が主催するもので、「全国的に注目された発掘調査の成果をできるだけ早く、できるだけ多くの皆様に、わかりやすくご覧いただくことを目的」に開催されています。

今年是全国各地から約610点の出土品などが巡回されます。

また、今回は文化庁が取り組んでいる平城京跡第1次大極殿復元整備が行われています。発掘調査成果や復元された模型なども展示します。

会場: 3階総合展示室・1階企画展示室 観覧料: 500円

講演会

要予約 観覧料要
先着100名

10月3日(土) 14:00～16:00

『発掘された日本列島2009』

講師: 文化庁文化財部記念物課文化財調査官

展示室トーク

申込不要 観覧料要

10月11日(日) 13:00～14:00

10月31日(土) 13:00～14:00

ワクワクワーク

要予約 先着各30名

10月12日(祝・月) 10:00～11:00 定員30名

「勾玉を作ろう」

11月7日(土) 10:00～11:00 定員30名

「ミニ銅鐸・銅鏡」「和同開珎」作りを実演します。

高知の食文化を味わう

各回要申込 今後の予定

9月12日(土) 四万十町十和 おかみさん市

10月17日(土) 吾北

吾北地区農漁村女性グループ研究会

11月21日(土) 食のこころ特別編

ゆすはら周辺と文化ツアー

(12月・1月・2月・3月も特別編で現地へ出ます。)